

折に触れ 四字熟語

NO. 227 『刮目相待』 かつもく そうたい

< 意味 > 人のめざましい成長や物事の進歩を期待して待ち望むこと。また、相手を今までとは違った見方で見ること。目をこすりよく見て、相手に応対する意から。「刮目して相待つ」と訓読する。

< 出典 > 『呉史』呂蒙伝・注

故 事 : 中国 三国時代、呉の武将の呂蒙が主君孫権のすすめで勉強に励み、その進歩のよさで魯肅を驚かせ、「立派な人は三日別れているだけで、もう目を見開き見なければいけないものなのです」と言ったという故事から。

語 釈 : 「刮」はこする意。「刮目」は目をこすってよく見ること。

一 言 : 7月21日付けのgoo辞書第1位の四字熟語です。あまり目にしない熟語だと思いますが、なにか私の知らないニュースを反映しているのでしょうか。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」